

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

<b>事業名</b>	大学の世界展開力強化事業			<b>担当部局庁</b>	高等教育局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始年度</b>	平成23年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	高等教育企画課	PTリーダー 渡辺 栄二				
<b>会計区分</b>	一般会計									
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	-			<b>関係する計画、通知等</b>	「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)、「第2期教育振興基本計画」(平成25年6月14日閣議決定)、「留学生30万人計画」(平成20年7月29日)					
<b>主要政策・施策</b>	子ども・若者育成支援			<b>主要経費</b>	文教及び科学振興					
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った日本人学生の海外留学と外国人学生の受入を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を支援することで、大学教育のグローバル展開力の強化を図る。									
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	<p>○国毎の高等教育制度の相違を超え、単位の相互認定や成績管理、学位授与等を行う教育交流プログラムの開発・実施を行う大学を支援し、日本人学生の海外派遣と外国人学生の受入を促進。</p> <p>○平成23年度に「キャンパス・アジア中核拠点形成支援」と「米国大学等との協働教育創成支援」を、平成24年度に「ASEAN諸国等との大学間交流形成支援」を、平成25年度より「海外との戦略的高等教育連携支援(欧州・AIMS)」を、平成26年度に「ロシア、インド等との大学間交流形成支援」(平成29年度に拡充)を、平成27年度に「中南米等との大学間交流形成支援」を、平成28年度に「アジア諸国等との大学間交流の枠組み強化」を、平成30年度に「COIL型教育を活用した米国等との大学間交流形成支援」、令和元年度に「日-EU戦略的高等教育連携支援」を、令和2年度に「アフリカ諸国との大学間交流形成支援」を、令和3年度に「アジア高等教育共同体(仮称)形成促進」を開始。</p> <p>○公募により、国公私立大学を通じて競争的に選定、重点的な財政支援を行う。支援期間は原則5年間。【定額補助】</p>									
<b>実施方法</b>	補助									
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算の状況	当初予算	1,310	1,198	1,007	1,055	1,801			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	43	80	170	-			
		翌年度へ繰越し	▲ 43	▲ 80	▲ 170	-	-			
		予備費等	▲ 50	▲ 23	▲ 31	-	-			
		計	1,217	1,138	886	1,225	1,801			
	執行額		1,217	1,053	828	-	-			
	執行率(%)		100%	93%	93%	-	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		93%	88%	82%	-	-			
<b>令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)</b>	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	国際化拠点整備事業費補助金	1,054	1,800	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。						
	職員旅費	0.7	0.7	※既存事業については、5年間の補助期間の中で、開発した国際教育プログラムを大学による自立的運営につなげていく観点から、原則として補助金支援額は逡減させていく。令和5年度は新規事業として米国等との大学間交流形成支援を実施予定であり、新規事業費として1,000百万円を要求。						
	委員等旅費	0.4	0.4							
	計	1,055	1,801							
<b>活動内容(アクティビティ)</b>	我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った日本人学生の海外留学と外国人学生の受入を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を行う大学に対し、事業期間中の中間評価と毎年のフォローアップ活動を実施するとともに、プラットフォーム構築を後押しすることで交流事業を促進する。									
<b>活動目標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	双方向の交流によるキャンパスの国際化	採択プログラムにおける日本人学生の海外留学生数 ※令和3年度実績値は、大学への調査数値確定後、記載予定(11月頃)。	活動実績	人	1,969	1,339				
			当初見込み	人	1,962	1,686				
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	年度執行額×30%／採択プログラムにおける学生交流数(日本人学生の海外留学生数+外国人学生の受入数)			単位当たりコスト	百万円	0.1	0.1			
	※学生支援のための経費は補助金総額の30%以内としている。			計算式	執行額(百万円)/取組件数	365/3,845	372/3,041			
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度	
	採択大学全体における留学を経験する日本人学生の割合の増加 ※目標値は、毎年度前年度実績以上	単位授与を伴う日本人学生の海外留学経験者数/日本人学生数	成果実績	%	4	0.2	-	-	4年度	-
			目標値	%	4.5	4	0.2	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-	-

根拠として用いた統計・データ名 (出典)		採択大学に対する調査							
活動内容 (アクティビティ)		我が国にとって戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った日本人学生の海外留学と外国人学生の受入を推進する国際教育連携やネットワーク形成の取組を行う大学に対し、事業期間中の中間評価と毎年のフォローアップ活動を実施するとともに、プラットフォーム構築を後押しすることで交流事業を促進する。							
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込
	双方向の交流によるキャンパスの国際化	採択プログラムにおける外国人学生の受入数 ※令和3年度実績値は、大学への調査数値確定後、記載予定(11月頃)。	活動実績	人	1,876	1,702			
			当初見込み	人	1,591	1,432			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 4 年度
	採択大学全体における外国人留学生比率の増加 ※目標値は、毎年度前年度実績以上	外国人留学生数/全学生数	成果実績	%	8.1	7.5	-	-	-
			目標値	%	11.4	8.1	7.5	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	採択大学に対する調査								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 4 年度
	プログラム実施による外国人留学生からの国際的なレピュテーションの向上	外国人留学生の出願数/外国人留学生入学者数	成果実績	%	297	314	-	-	-
			目標値	%	-	297	314	-	100
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	採択大学に対する調査								
政策評価 政策 施策	4 個性が輝く高等教育の振興		政策評価書 URL	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-4_1.pdf</a>					
	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上		該当箇所	施策目標4-1-6					
<b>事業所管部局による点検・改善</b>									
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	国際的に活躍できるグローバル人材の育成や優秀な留学生の獲得が大学に求められており、日本人学生の海外派遣と外国人留学生の受入を行う質の保証を伴った国際教育連携の取組を支援する本事業への国民や社会からのニーズは高い。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	本事業は、「日本再興戦略(H25.6.14閣議決定)」で目指すこととしている「2020年までに日本人留学生を6万人(2010年)から12万人へ倍増」、「優秀な外国人留学生についても、2012年の14万人から2020年までに30万人に倍増」に寄与するものであり、国が実施すべき事業である。				
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	本事業は、質の保証を伴った国際教育連携の取組を支援し、「日本再興戦略(H25.6.14閣議決定)」で定める、2020年までに日本人留学生及び優秀な外国人留学生を倍増させることに寄与するものであり、行政目的の達成手段として必要かつ適切であるとともに、優先度が高い事業である。					

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	国公立の全大学を対象に公募を行い、採択大学の選定にあたっては、有識者によって構成されるプログラム委員会及び審査部会を設置し、厳正な審査の上、採択プログラムを決定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	事業規模が補助金額を上回る分については、大学の財源による負担を求めている。また、補助期間終了後も事業を継続的に実施していくため、補助期間中に自己資金比率を高める計画を求めている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	限られた予算において、より高い成果につながる活動が行われているかを毎年度のフォローアップにおいて確認している。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	補助金交付時の申請書及び当該年度終了後の実績報告書において、各大学の支出が合理的なものとなっているかを確認している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	補助金交付時の申請書及び当該年度終了後の実績報告書において、支出先・使途を把握するなど、費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているかを確認している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-
事業の有効性	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	コロナウィルスの影響に伴い、令和3年度に前年度の目標達成に向けて事業を実施しているため、妥当と考えられる。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	補助金交付時の申請書及び当該年度終了後の実績報告書において、コスト削減や効率化に向けた工夫が行われているかを確認している。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	採択大学全体における外国人留学生比率及び留学を経験する日本人学生の割合は前年度以上の実績を上げている。また、外国人留学生の出願数/外国人留学生入学者数は目標値の100%を大きく上回っている。以上から、成果実績は成果目標に見合ったものとなっている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	本事業は、戦略的に重要な国・地域との間で、質保証を伴った日本人学生の海外留学と外国人学生の受入を推進する国際教育連携の好事例を蓄積し、他大学に発信することを目的としており、補助事業として効果的な取組と言える。
活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	事業開始前に設定した計画を上回る交流数となっており、活動実績は見込みに見合ったものとなっている。	
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	毎年度実施するフォローアップ結果や中間評価・事後評価に関する情報等各種事業に関する情報はウェブサイトに掲載するなど、広報に努めており、大学関係者等に活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	・経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。 ・令和3年度は、アジア高等教育共同体(仮称)形成促進として、20件のプログラムを新たに採択し、質の保証を伴った国際教育連携の推進に取り組んでいる。	
	改善の方向性	・今後、採択大学における学生交流プログラムの好事例を全国の大学に波及させ、海外の大学との大学間交流を促進し、質の保証を伴った国際教育連携を推進する。	
<b>外部有識者の所見</b>			
外部有識者による点検対象外			
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>			
の事業 善部 内容 改善	この事業は、成果について令和3年度実績値は、現時点で未確定であるが、速やかに成果を把握し、事業実績のフォローアップの結果を踏まえたメリハリのある予算配分を行うなど、引き続き効果的・効率的な予算執行に努め、また学生交流プログラムの好事例を他の大学に紹介するなど得られた成果を活用した国際教育連携の推進に努めるべきである。		

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

改年度  
改善を  
年内に  
検に

引き続き中間評価及びフォローアップ調査を行い、各大学の成果の把握に努めていくこととする。各大学の好事例については定期的に対面やメール等でヒアリングを行っており、他大学にとってプラスとなるような情報については、大学の国際化促進フォーラム等を通じて周知していくこととする。

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	新23-0023			
平成24年度	163			
平成25年度	140			
平成26年度	143			
平成27年度	132			
平成28年度	132			
平成29年度	136			
平成30年度	137			
令和元年度	文部科学省 - 0132			
令和2年度	文部科学省 0143			
令和3年度	2021 文科 20 0154			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。  
なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

文部科学省  
828百万円

「大学の世界展開力強化事業」プログラム委員会の審査・評価結果に基づき、採択大学を決定するとともに、これら大学に対し、国際化拠点整備事業費補助金を交付。

【補助金等交付】

A.大学等(全53件)  
790.4百万円

本事業の目的に基づき、それぞれ我が国にとって戦略的に重要な国・地域の大学との教育プログラムの開発・実施を行う。

【補助金等交付】

B.(独)日本学術振興会  
37.6百万円

本補助金事業の選定に係る審査、評価、モニタリング等の業務を実施。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.東京外国語大学			B.独立行政法人日本学術振興会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費・謝金	プログラムコーディネーター、事務補佐員等 人件費	16	人件費・謝金	審査部会、書面審査等	22.7
その他	教材作成、翻訳システム等	14	その他	会議記録外注費等	14.2
旅費	国内旅費等	1	旅費	事務打ち合わせ・会議出席	0.5
物品費	事務用消耗品	0.1	物品費	事務用消耗品	0.2
計		31.1	計		37.6

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東京 外国語大学	4012405001287	歴史と公共圏を鍵概念として 日欧相互理解を深める 国際人材育成プログラム	31.1	補助金等交付	-	--	
2	国立大学法人東京 外国語大学	4012405001287	日露人的交流の飛躍的拡大に 貢献するTUFSD日露ビジネス 人材育成プログラム	19	補助金等交付	-	--	
3	国立大学法人東京 外国語大学	4012405001287	「多文化主義的感性とコン フリクト耐性を育てる太平 洋を越えたCOIL型日米教 育実践」	17	補助金等交付	-	--	
4	国立大学法人長崎 大学	3310005001777	プラネタリーヘルスの実現 に向けた日ア戦略的共同 教育プログラム	18	補助金等交付	-	--	
5	国立大学法人長崎 大学	3310005001777	日露の大学間連携による 災害・被災く医療科学分野 におけるリーダー育成事業	18	補助金等交付	-	--	
6	国立大学法人長崎 大学	3310005001777	アジアの大学間連携による 持続的社會基盤整備を支 えるグローバル人材育成 事業	15	補助金等交付	-	--	
7	国立大学法人長崎 大学	3310005001777	持続可能なアジアの水産と 海洋環境を実現する国際 協働人材養成プログラム	15	補助金等交付	-	--	
8	国立大学法人北海 道大学(国立大学法 人新潟大学)	6430005004014	プラットフォーム構築プロ グラム(ロシア・インド等との 大学間交流形成支援)	29	補助金等交付	-	--	
9	国立大学法人北海 道大学	6430005004014	アフリカと日本の架け橋と なる次世代の人材を育成 する国際獣医学・保全医学 教育プログラム ~ザンビ ア-北大の頭脳循環成果を 基盤として~	18	補助金等交付	-	--	
10	国立大学法人北海 道大学	6430005004014	持続可能な輸送システムと 社会インフラ構築のための 国際共同研究力育成プロ グラム	17	補助金等交付	-	--	
11	国立大学法人千葉 大学	2040005001905	COILを使用した日米ユ ニーク・プログラム	19	補助金等交付	-	--	
12	国立大学法人千葉 大学	2040005001905	極東ロシアの未来農業に 貢献できる領域横断型人 材育成プログラム	18	補助金等交付	-	--	
13	国立大学法人千葉 大学	2040005001905	ソーシャル・デザイン・イ ニシアティブ	15	補助金等交付	-	--	
14	国立大学法人広島 大学	1240005004054	先端技術を社会実装する イノベーション人材養成の ための国際リネージュ型学 位プログラム	19	補助金等交付	-	--	
15	国立大学法人広島 大学	1240005004054	南北アフリカとの互恵的 パートナーシップ構築の ためのトライアングル海外学 習プログラム	18	補助金等交付	-	--	
16	国立大学法人広島 大学	1240005004054	インクルーシブ・マインドを 醸成するアジア地域国際 協働人材育成	14	補助金等交付	-	--	
17	国立大学法人京都 大学(国立大学法人 東京外国語大学)	3130005005532	アフリカにおけるSDGsに 向けた高度イノベーション 人材養成のための国際連 携教育プログラム	45	補助金等交付	-	--	
18	国立大学法人東京 大学	5010005007398	日米のCOIL型教育を活用 した先端ワールド・グロー バル工学人材養成プログラ ム	17	補助金等交付	-	--	

